

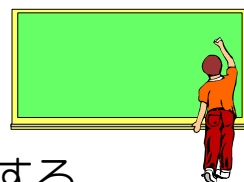
ユニバーサルデザインに基づく授業

四万十市立中筋中学校

1. 環境の工夫

すっきり気持ちいい教室環境

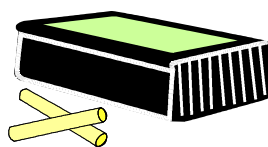
- 教室前面をすっきりさせる。
- 1時間のスケジュールを提示する。
- 何をどこに片付けるか明確にする。
- 学習の「ねらい」と「まとめ」を分かりやすくする。
- 学習姿勢に気をつけるよう具体的に指示する。



2. 情報伝達の工夫

見通しが持てる授業

- 声の大きさは大きすぎず小さすぎず
- 具体的で明確な指示をする。
- 言語指示だけでなく視覚指示も活用する。
- 活動の途中で指示を出すときは活動を止める。
- 板書の構造化を行う。(授業の流れ・文字の大きさ、量、色)



3. 活動内容の工夫

全員参加・関わり合い

- 1日の流れ・授業の流れを提示する。
- 授業にメリハリをつける。(動と静)
- 具体物を使用する。
- 子ども同士が関わり合い学び合う場面をつくる。
- 理解が早い子どもへの対応を行う。



4. 教材・教具の工夫

安心し、興味を持って学ぶ

- タイマーを使い、時間の見通しを持てるようにする。
- 身近な生活の中から教材を見つける。
- 視覚的なものを使用する。
- 習熟度に応じてプリントを数種類用意する。
- ICTを活用する。



5. 評価の工夫

「褒める」を「見える化」する

- 褒める機会をつくる。
- 子どもに伝わる方法で褒める。
- 視覚的な評価をする。
- 子どもが自分で活動のチェックができるものを用意する。
- 行動直後に評価するなど賞賛や注意のタイミングを計る。

